

せたな町農業振興ビジョン

～創意と工夫により、豊かさと活力がみなぎり、魅力あふれる農業・農村をめざして～

～ 美しく歴史ある農村を次世代に引き継ぐために ～



平成 2 5 年 3 月
せたな町農業振興ビジョン策定委員会

【目次】

はじめに （町長あいさつ）

第1章 ビジョン策定にあたって

- 1 ビジョン策定の趣旨 1
- 2 ビジョンの性格 1
- 3 ビジョンの位置付け及び計画期間 1

第2章 町農業・農村をめぐる情勢

- 1 我が国の社会情勢の変化 3
- 2 町農業の歴史と特徴
 - (1) せたな町農業の歴史 5
 - (2) せたな町農業の特徴 10
- 3 町農業・農村の現状と課題
 - (1) 農家戸数及び農業人口 16
 - (2) 農業の位置付けと農業産出額 17
 - (3) 農業所得水準 18
 - (4) 農業の生産性 19
 - (5) 農業生産に係る技術的状況 24
 - (6) 構造的な課題 27
 - (7) 取組に対する意識の課題 28

第3章 ビジョンの基本的な考え方

- 1 基本理念・めざす姿など
 - (1) 基本理念 29
 - (2) めざす姿（10年後のイメージ） 29
- 2 基本方向 30
- 3 取組の方向性 30

第4章 具体的な取組

- 1 「心」づくり 31
- 2 「人」づくり 32
- 3 「土」・「農地」づくり 37
- 4 「農」・「食」づくり 39
- 5 「ブランド」・「付加価値」づくり 46
- 6 「農村環境」づくり 48

第5章 ビジョンを実現するために

- 1 推進体制 52
- 2 施策体系、取組主体、取組時期等 53

第6章 参考資料

1	検討体制	58
2	検討経過	60
3	農業経営者に対するアンケート結果	61
4	用語解説	69
コラム1	入植当時の生活	6
コラム2	会津ゆかりの地「丹羽」と「若松」 いずれも古木から開拓	7
コラム3	せたな町を中心に考えてみよう	11
コラム4	せたな町の面積と人口	12
コラム5	せたな町の食料自給率は94.0%	15
コラム6	せたな町の産業担い手対策について	34
コラム7	産業担い手に対する研修支援制度について	35
コラム8	稲わら燃やすな、情熱もやせ	41



はじめに

「せたな町農業ビジョン」の策定にあたって



せたな町は、明治時代の入植に始まり、先人の偉大な開拓精神と血のにじむような努力によって今日の農業基盤が築かれ、豊かな自然環境のもとで北海道における有数の農業地帯として発展してきました。

しかしながら、せたな町農業を取り巻く情勢は、農業者の高齢化や後継者不足など担い手の減少、農業の国際化の動きの中で農産物価格の低迷や生産資材の高騰による農業所得の減少など様々な課題に直面しております。

農業は、本町の基幹産業であり、いかに環境や社会構造が変化しようとも、力強く持続的に発展していくことが重要です。さらに農業・農村は、環境の保全や美しい景観を形成するとともに、農産物を核とした食づくりなどを通じ、消費者や他の産業と幅広く結びつく重要な役割を担っております。

この美しく歴史ある農業・農村を本町の宝としてしっかりと次世代に引き継ぎ、創意と工夫により変化の激しい情勢や課題に的確に対応し、夢を持って安心して農業を営むことができるよう、農業者や関係者の総意として「せたな町農業振興ビジョン」を策定しました。

今後、このビジョンを農業振興の基本指針として、農業者や関係機関・団体とともに、豊かさと活力がみなぎり、魅力あふれる農業・農村をめざして各種の施策を進めてまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

最後に、このビジョンの策定にお力添えをいただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成25年3月

せたな町長 高橋 貞光